

ぬくもりとおもいやりの医療

患者さんすべてに「満足」いただけるように 病院全体で「医療の質」改善に取り組んでいます

皆さんが考える「いい病院」とはどのようなものでしょうか。病院を利用するすべての方が、病院が提供する医療に対して「満足」いただける病院ではないでしょうか。

当院では毎年、入院患者さん、ご家族、外来患者さんを対象に満足度に関するアンケート調査を実施しています。今年度は8月に行いました。職員の対応・接遇、待ち時間、環境・設備などの項目について、満足・やや満足・やや不満・不満の4段階で選択していただきましたところ、非常に高い評価をいただきました。しかしながら、「不満」、「やや不満」の方が総じて5-6%いたことは、私たちにとって反省すべき重要な課題です。さらには「やや満足」の方が20-45%の率であり、当院を利用するにあたり十分満足できない「何か引っかかる」ものがあると感じている方が相当数いるのではないかと解釈できます。

「満足」の要素として、医師の見立てがよく信用できる、一番接する機会の多い看護師がやさしい、病院で働くすべての職員の対応が丁寧である、他職種の人がそれぞれ専門的立場から病気のことを皆で検討してくれる、高度最新医療機器がそろっている、病院の環境がきれいで心地よく療養できる、受診から支払いまでわかりやすく円滑で迅速である、経営的にも健全である、などが挙げられます。これらすべてが病院の「医療の質」につながります。私たちはこれら「医療の質」に関連するあらゆる項目について、一つ一つを見直し、分析し、その改善に取り組んでいます。そしてより質の高い医療の提供を心がけ、究極には病院をご利用いただくすべての人の満足度を上げることが私たちの目標です。

当院を利用するに当たりお気づきの点は是非ご指摘下さい。病院の満足度向上に活かしていきたいと思えます。

病院長 卜部 健



医療の質向上を目指す取り組み Quality Indicator (医療の質指標)

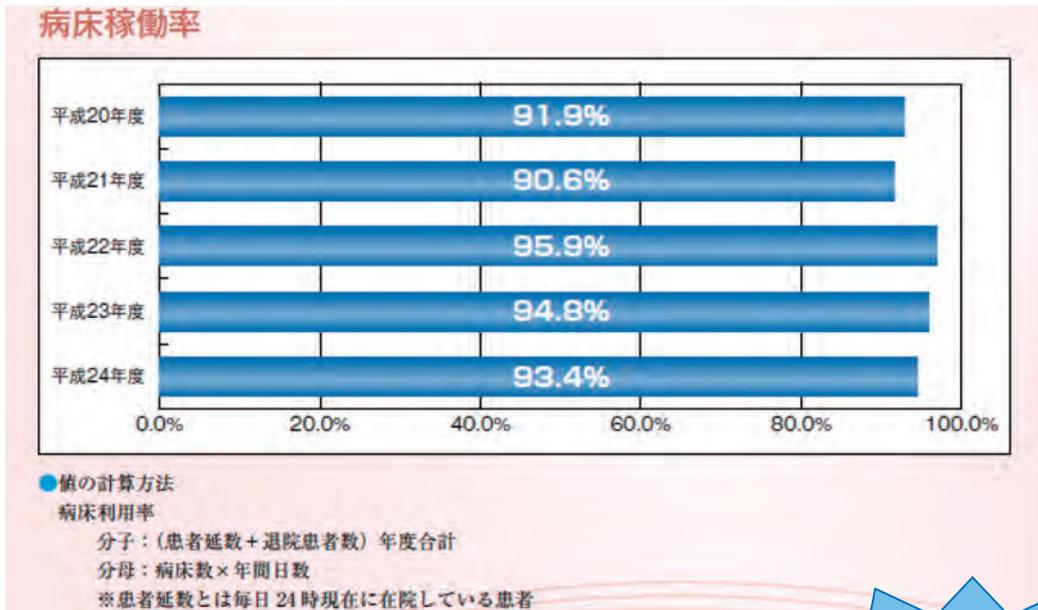
公立松任石川中央病院では今年度、卜部病院長を中心に職種横断型QIチームが結成されました。QIは「医療の質指標」と言い、先の病院長の言葉にあるように医療の質には診療の質、サービスの質が含まれます。

この指標の概要は自院の能力を全国の病院と比較し、自院の立ち位置を明らかにすることであり、目的は平均より低い項目は改善し、高い項目は強みとして発展させることです。

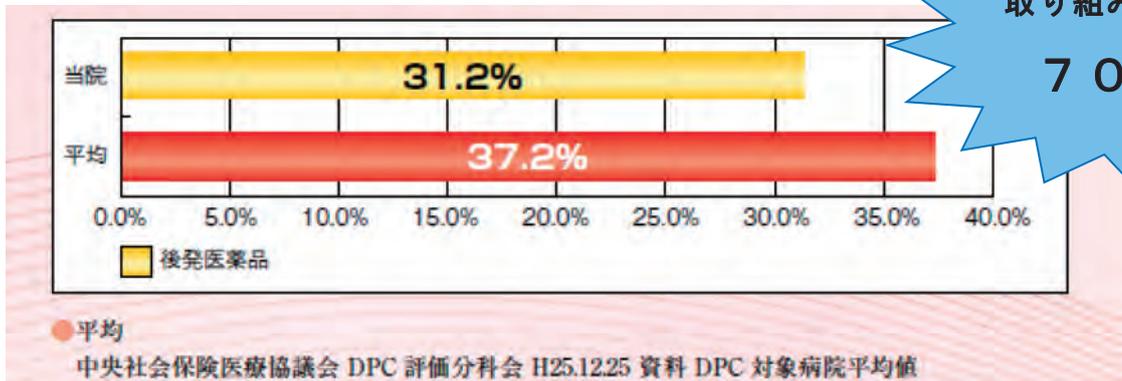
昨年度は平均在院日数、救急搬送受入数、後発品使用割合など10項目を冊子にまとめ院内に周知し、職員にQIの目的について周知理解を求めました。

今年度はより広い分析と改善活動に重点が置かれることとなります。

 「公立松任石川中央病院 Quality Indicator 臨床指標 平成24年度」より抜粋



後発医薬品（ジェネリック医薬品）使用割合



**取り組みの成果で
70%へ!**

この取り組みの成果の一つとして、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用割合が大きく向上しました。職員の一人一人が「医療の質」を意識することで、大きな結果につながったのです。

最終的な目的として皆様への公開があります。現在は実績集を病院年報としてウェブページ上で公開していますが、今後QIに移行することで、病院の能力がより理解しやすい形でお伝えできるようになります。

それぞれの指標には意義や病院がどのように考え行動するかなど文章を添える予定ですのでご期待ください。

新任医師の紹介

10月1日より、歯科・歯科口腔外科の医師が1名増えました。
まだまだ慣れないことも多いとは思いますが、頑張りますので、
よろしくお願いいたします。

歯科・歯科口腔外科 医長 岡部 克彦



院内災害机上訓練を行いました



去る10月23日と12月5日に、当院においてエマルゴ・トレイン・システム®※を用いた院内災害机上訓練を行い、合わせて約120名の職員が参加しました。

大規模事故にて多数傷病者が搬入されるという想定で、参加者は災害対策本部や外来、手術室、病棟など各部門に分かれ、搬送されてきた傷病者のトリアージ（緊急度や重症度を判断して4段階に分類）や処置、手術室および病棟の調整など災害対策マニュアルに従って対応を行いました。参加者からは全体の動きは把握できて良かった、何度も訓練するべき、などの声が多く聞かれました。

机上訓練の良さは準備が簡単で手軽に訓練ができ、問題抽出が速やかに行えることです。災害拠点病院としての責務を果たすため、これからも訓練を重ね、災害に強い病院づくりを進めていきたいと思えます。

(救急医療部 安間)

※スウェーデンで開発された災害医療の教育・訓練を行うための机上シミュレーションキット

《患者の人権をお守りします》

1. 患者のプライバシーを守り、人権を尊重した患者主体の医療に努めています
2. 患者と医療者がお互いの立場や役割を認め合い、責任を担う信頼と協働の医療を目指しています

【知る権利を保障します】

病気の内容、検査の必要性、治療の方針などを患者にわかりやすく説明します。

患者が十分に理解して納得、同意された上で適切な診療を行います。

患者から要望があればカルテを開示します。

【医療に参加する権利を保障します】

患者は治療法を自らの意思で選択する権利があります。

ご自分の診療について、変更・撤回などご要望があれば主治医にお申し出下さい。患者自身の意思を尊重した診療を行います。

【情報を提供します】

ご自分が今うけている診療内容について他の医療機関で一度みてもらいたい場合は、患者の当然の権利として、診療に必要な情報を提供します。(セカンド・オピニオン)

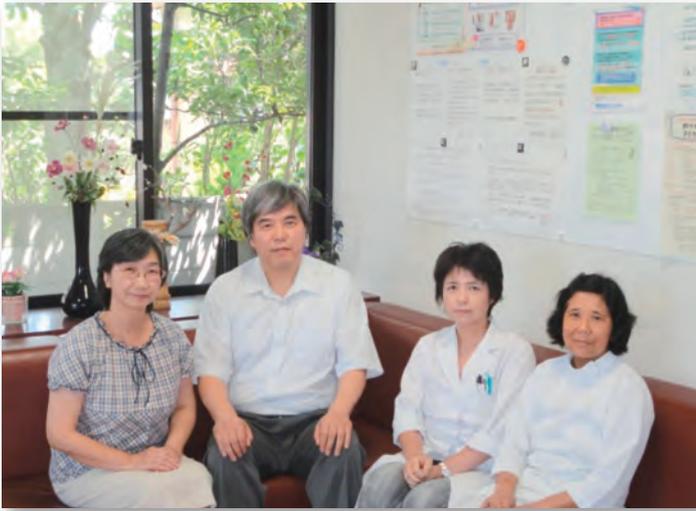
また、他の医療機関で診療を続けたい時(転院)も同様に医療情報を提供します。

登録医のご紹介③

続いて紹介させて頂くのは、「安原医院」です。

安原 医院

安原 稔 先生、安原 真理 先生



☆☆クリニックよりひとこと☆☆

当院では、大正13年からこの地域のかかりつけ医として、診察・往診などを行ってきました。平成4年に私が医院継承後も、医師である妻とともに在宅診療に積極的に取り組んでいます。

当初より近隣の診療所と診診連携のグループを構築し、また最近では緊急入院のための後方病院を確保した強化型在宅支援診療所として活動しています。

さらに公立松任石川中央病院をはじめ複数の病院とも連携し、必要に応じて患者さんの病状・希望に沿って紹介できるようにしています。

地域の人々が安心して生活し、最後までこの地域で過ごすことができるために貢献できるような医院を目指しています。

安原 医院 専門領域:内科、消化器科

〒924-0801 白山市田中町242
TEL (076) 275-2008

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	—	○	○
16:00~18:00	○	○	○	—	○	—

※休診日：日曜、祝日、木曜（土曜日は9:00~15:00）

※13:30~16:00は往診で不在のことがあります。

患者サロンを開設します！

公立松任石川中央病院では認定看護師を中心に、患者さんの生活に出来るだけ寄り添った関わりを目指して、がん相談支援センターの設置、看護外来の開設や出前コンサルティングを行ってきました。

当院を利用されているがん患者さんの数は、入院患者さん全体の16.1%と多いのですが、患者さんが情報を得る機会を十分に提供出来ていないのが現状です。

がん治療の多様化や医療情勢の急激な変化などに伴い、以前から患者同士の情報交換や相談の場を院内に作れないかという病院モニターの要望もありました。そこで、現在工事中の増改築に併せ、当院の認定看護師が主体となり活動する「患者サロン」を開設することになりました。

平成27年春活動開始を目標に「ぬくもりとおもいやりのある」サロンを目指し準備をすすめています。

